平成31年度　東京農工大学卓越大学院プログラム履修生

第2次募集案内【M対象】

1．プログラム概要

　卓越大学院プログラム（プログラム名：「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより牽引する卓越リーダーの養成）では、平成31年度に本学修士課程（博士前期課程、専門職学位課程）に在籍する学生を対象に、プログラム履修生を募集いたします。

　東京農工大学は「世界が認知する研究大学へ」という目標を掲げ、農学と工学の高度大学院教育によって新産業創出を担うイノベーションリーダーを養成することに力点を置く理系研究大学として教育研究を推進してきました。農学と工学を基盤とし、Society 5.0「超スマート社会」を実装できる卓越した高度博士人材を輩出し、社会的課題の解決につなげるべく設立されたのが本学の「卓越大学院」です。本プログラムでは、“新産業創出”と“ダイバーシティ”を特色とし、農学と工学が協創し、民間企業や海外研究教育機関等と協力して、“先端工学技術によって実現する農業流通革命に資する新産業創出”を主軸テーマとした高度博士人材の養成にとりくみます。プログラム履修生は、短期の海外研修のみならず、中長期の海外留学に対する経済的支援などグローバルな人材の育成に関する様々な支援を受けることができます。また、博士人材と民間企業をつなぐ博士マッチングシステムの構築・導入により、プログラム履修生と民間企業とのマッチングを支援するようなサポートや、企業との共同研究テーマを自ら提案し、それが認められれば共同研究に係る研究経費が配分されるといった産業界への貢献を強く意識した博士人材育成のための様々なサポートも受けることが可能です。さらには、「コンピテンシー評価」により、各自のコンピテンシー獲得状況が適宜、スマートフォン等のネットを活用して確認できるシステムも導入するため、本プログラムにおいて経験することが自身の成長にどのようにつながるのかを確認しながらプログラムで学ぶこともできます。本プログラムの趣旨を理解し、博士課程への進学を希望する学生の応募をお待ちしております。

　目標とする人材像

　・農学の社会的課題を工学先端技術で解決する「農工協創による新産業創出」に挑戦する人材

　・イノベーション人材に必須なダイバーシティを強化

　・俯瞰力、独創性、ダイバーシティ理解、国際競争力と高度専門性を備えた卓越リーダー

2．カリキュラムと修了要件

　各専攻の修了要件の他、卓越大学院プログラムが提供する以下の科目と単位を取得し、Qualifying Examination(QE)※に合格することをプログラム修了条件とする。取得総単位数は46単位以上とする。プログラムは、平成３１年４月から開始する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| QE1審査前 |  |  |
| 科目区分 | 必要単位数 | 概要 |
| 農工協創基盤科目群 | ６単位以上 | 農学の視点と工学の技術を融合し新産業創出を可能にする人材となるための基盤となる知識を習得する |
| 産官学連携科目群 | ２単位以上 | 新産業創出を担う人材として必須となる知識や経験を獲得する |
| 国際科目群 | １単位以上 | 新産業創出を担う人材として必須となる国際的な観点からの知識や経験を獲得する |
| 農工協創専門科目群 | ６単位以上 | 新産業創出に不可欠な農学と工学のより専門的な知識を習得する |
| QE１審査 | 12単位以上 | 各種実習や研究、プレゼンテーションなどを通じて実践的な能力を高める |
| 計 | ３２単位 |  |
| QE1審査後 |  |  |
| 農工協創・産官学連携国際科目 | 2単位以上 | 新産業創出人材として成長するために産官学や国際連携に関する高度な知見を学ぶ |
| 農工協創・産官学連携国際演習科目 | ３単位以上 | 新産業創出人材として成長するために産官学や国際連携に関する高度な実践的能力を獲得する |
| 最終審査 | ８単位 | 極めて高度な各種実習や研究などを通じて実践的な能力を高める |
| 計 | １４単位 |  |

※QEについて

　Qualifying Examination（QE）は、博士前期課程（修士課程）２年次の後期（QE1）と、博士後期課程3年次に行います（QE2）。

4．応募資格

平成31年度4月に本学大学院修士課程（博士前期課程、BASE学府5年一貫制1年次を 含む）１年に入学し、かつ修士号取得後は引き続き本学博士課程又は博士（後期） 課程に進学する意思を有し、さらに本プログラムの教育・研究理念に合致する目標 を持つ者としますが、途中編入を希望する学生の申請も認めます。

但し、第1次募集で不合格となった者は対象としません。

　最終選考に合格し、本プログラムの養成対象者となった学生は所定の科目を受講し、一定の単位数を取得後に、QE2に合格することで、学位記にプログラム修了が併記されます。

※応募にあたっては、主指導教員の承認を得て、研究内容及び面接試験日程等の確認を必ず行ってください。また、プログラム学生に採用された場合は、各指導教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

5.　各種支援

　　卓越大学院プログラム生には、民間企業との共同研究を実施するための経費、海外研修・留学等を行うための各種支援等が用意されております。

　（支援経費例）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 海外短期派遣旅費 | P1〜P2期間中に短期（1週間程度）の海外研修を実施するための旅費などの支援 |
| ラボローテーション支援 | P1〜P2期間中のラボローテーションを用いた海外留学の旅費などの支援 |
| 国際学会発表に関わる支援 | 国際学会発表のための旅費などの支援 |
| 海外中長期留学旅費 | QE1以降に半年間程度の海外研修・留学を実施するための旅費などの支援 |
| 企業との共同研究支援 | QE1以降の学生を対象とし、企業との共同研究構築に必要なスキルを修得するための研究プロジェクト企画予算 |

6．応募提出書類

　（１）学部成績証明書

　（２）卓越大学院プログラム履修生申請用紙応募用紙（本プログラムへの志望動機等含む）

7．応募・選考スケジュール

公募期間：平成31年3月4日～3月15日**正午まで**

　第一次選考（書面審査）の合格発表：平成31年3月18日（月）

　第二次選考（面接審査）の実施日：平成31年3月22日（金）※

　※面接審査当日、海外に居る方については、申請前に下記の問い合わせ先に相談ください。

　なお、合格発表について、第一次選考、第二次選考とも合否にかかわらず、メールにより通知を行う。

8．選考基準

１次選抜：書類審査

　学部での成績および志望理由等から総合的に評価する。

２次選抜：面接諮問

　面接諮問では以下の内容に関する10分間のプレゼンテーションおよび質疑応答（計15分）により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価する。

* 1. 本プログラムへの志望動機
	2. 卒業論文における研究の概要と、本プログラムを通じた今後の研究についての展望
	3. 本プログラムを修了し、学位を取得した後の将来構想

9．採用予定人数

若干名

10．書類提出先・問い合わせ先

　成績証明書及び応募用紙は、31年4月以降に在籍予定の以下事務室へ、期限までに提出ください。成績証明書はオリジナル（紙）を原則としますが、申請時にパスワードを付した電子媒体で提出することも可とします。但し、その場合は事後にオリジナル（紙）をあらためて提出してください。また、応募用紙も電子媒体の提出も可としますが、指導教員署名のあるものを有効とします。

　①書類提出先

＜府中キャンパス>

・農学府

東京農工大学府中地区学生支援室第二係 TEL：042-367-5659

　　　　　　 Mail：Mail：a-nyushi@cc.tuat.ac.jp

＜小金井キャンパス>

・工学府、ＢＡＳＥ学府

東京農工大学小金井地区学生支援室 TEL：042-388-7173

　　　　　　 Mail：tkyomu1@cc.tuat.ac.jp

　　②問い合わせ先

　　　東京農工大学　学務部

　学生総合支援課　井村/阿部/井上 TEL：042-367-5943/5953/5882

 Mail：girkikaku@m2.tuat.ac.jp

平成31年度東京農工大学卓越大学院プログラム履修生申請用紙

【M用】

□東京農工大学卓越大学院プログラムに申請するに当たって、私（申請者本人）は本プログラムに採用された場合、博士後期課程まで進学する意思を持っていることを誓約します。

（□にチェックを入れてください）

氏名:

国籍:

所属学府名:

所属専攻名:

大学院（予定）入学年月:

e-mail:

電話番号:

【指導教員名、電子メールおよび署名】

- 指導教員氏名:

- 指導教員e-mail:

- 指導教員署名:

☐当該学生が東京農工大学卓越大学院プログラムを博士（後期）課程修了まで履修することを承認・確認し、その指導に当たることを誓約します。

（□にチェックを入れてください）

募集要項と本プログラムの趣旨に基づき、以下の項目について、それぞれ600文字程度（英語なら、150 Words程度）で記述してください。

1. 本プログラムへの志望動機

２．修士課程での研究計画の概要

３．本プログラムを通じた今後の研究の現時点での展望

４．本プログラム修了、学位取得後の将来構想

Application Form for WISE Program 2019

【for M】

□I pledge to have the will to take this WISE program until the end of the Doctoral Course.

（Please tick the “□“checkbox）

Name:

Nationality:

Graduate school:

Major:

Graduate School Entrance Date:

E-Mail:

Phone Number:

【Supervisor's Name, Email and Signature】

- Supervisor's Name:

- Supervisor's Email:

- Supervisor's Signature:

☐I approve and confirm that student will take the WISE Program, and will supervise this student until completing the Doctoral Course.

（Please tick the “□“checkbox）

Based on the Application Guidelines and the purpose of this program, please describe in 150 words approximately for each question below.

1. Describe reasons why you are applying for the WISE program
2. Summarize your research in the Master's Course.
3. Describe your prospect for your research in this program.
4. Future prospect after completing this program and acquiring the degree.